

【基本方針】

『地域と共に、いきいきと、楽しくそして活気がある空間を実現する』

【年間目標】

- ①丁寧語を遵守し、ご利用者様個々に応じたコミュニケーション及び5Sに取り組む。
- ②良質なサービスの提供
- ③家族との連携
- ④地域との連携
- ⑤ケアマネ及び他事業所との連携
- ⑥目標稼働率 75%を目指す

【実践計画】

- ①丁寧語について
 - ・「ふるさと」での基本となる丁寧語「～ます」「～です」等のお声かけを基本とし、遵守する事を意識する。
 - ・丁寧語を使用するべく、日々の指導を徹底し、スタッフ同士が注意し合える環境を整備する
 - ・適宜上司評価を実施し、日々の朝礼や終礼の際の指導、定期開催の部署会議等の機会に各スタッフへ発信する事での意識付けを行う。
 - ・ご利用者様は人生の先輩（敬うべき存在）である事を意識し、日々の関わりを実践する。
 - ・老人福祉事業である前に、サービス業としての意識を持ち、ご利用者様をおもてなしする事を遵守する。
 - ・言語の理解が困難なご利用者様には、単語での言葉かけやジェスチャーを交えての関わりを実践する。実践する際には、計画書等に内容を記載し、ご家族様或いはご本人様等に同意を得る事とする。
 - ・声かけ関わりの際には、笑顔で温かみのある言葉かけを実践する。
- ②良質なサービスの提供
 - ・認知症の状態に応じた専門的ケアの実施
 - ・定期的に認知症状の状態確認を行い、症状に応じた対応を徹底する。
 - ・良質な個別認知症ケアを提供し、利用者の残存機能を維持し、QOLの向上を図る。
 - ・季節感のあるレクリエーションや行事を定期的実施。
 - ・犬とのふれあい、園芸、おやつ作りなどの提供。
 - ・外出等の機会を適宜検討し、外気浴等による気分転換による精神的な安定を図る
 - ・適切な接遇対応
 - ・丁寧な言葉遣いと態度で接し、笑顔で明るく大きな声で、自分から楽しむといった心情を忘れない。（利用者、来客者、職員間）
 - ・ご利用者様のその日の状況による対応等認知症に特化した専門的な接遇を行う。

- ・安全管理の徹底
- ・ヒヤリハット及び事故の検証を行い再発防止に努める。
- ・リスクマネジメント
- ・感染症対策（インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒等の予防と発生時における対応の整備）
- ・各設備の点検及び整備（車輛、機械関係、消防設備等）
- ・チームケアの実施
- ・日々の支援を通して、「報・連・相」を的確に実施し、情報の共有と統一したケアの実施を行う。
- ・日々の支援内容及び利用者状態を振り返り、支援内容の焦点化を行う。
- ・運動、水分、口腔ケアを中心に自立支援を行う。
- ・サービス支援
- ・居宅介護支援計画書に基づき、利用者及びご家族のニーズに応じたサービス計画書の作成と計画に沿ったサービス提供を行う。
- ・サービス担当者会議への参加。
- ・基本の介護は丁寧に、尚且つ、より専門的な知識（認知症に関する事）を提供する。
- ・動的なレクリエーション及び静的なレクリエーションをバランスよく計画し、認知身体機能の維持向上を図る。

年間行事予定

4月	お花見外出 弁当持参にて日光浴
5月	母の日創作活動 カーネーション作り
6月	おやつ作り 和菓子
7月	七夕 短冊作り
8月	夏祭り ビアガーデン
9月	敬老会 祝い膳
10月	運動会 文化祭
11月	秋の外出活動 外食
12月	クリスマス会 お餅つき
1月	初詣外出
2月	節分創作活動、バレンタインデーおやつ作り
3月	ひな祭り創作活動

- ・職員のスキルアップ
- ・施設内研修の実施及び施設外研修の参加を促進し、自らのスキルアップの意識を持つ。
- ・適宜の OJT、OFFJT 等を実施し、スタッフのモチベーションの確保。
- ・定期的に自己評価及び面談を実施する。
- ・勉強会年間計画を作成し、計画的な職員教育を実施。
- ・相談員の勉強会を開催し、信頼される相談員の育成を図る。
- ・認知症への理解教育を実施し、より専門性を磨く。

③家族との連携

- ・連絡帳による利用状況の報告（本人、家族の意向記入欄も設ける）
- ・行事予定に家族参加型の内容を入れ、利用中のご本人の様子を知って頂く・
- ・認知症に関しての、家族への相談体制の整備。

④地域との連携

- ・運営推進会議を6ヶ月に1回開催し、地域への情報の開示および情報交換を行う。
- ・地域交流や社会資源の活用を通し、地域を基盤とした生活が継続できるよう支援する。
- ・地域ケア会議、ふれあいのまちづくり協議会への参加。
- ・地域の方が利用しやすいよう受け入れ体制の整備。
- ・ボランティアの積極的活用

⑤ケアマネージャー様及び他事業所との連携

- ・ご利用者様の変化に逸早く気づき、QOLを考慮した生活基盤を維持できるよう連携実施に努める。（※サービスに関する調整への助力・内服薬コントロールへのアドバイス
- ・日常生活方法へのアドバイス等相談機関としての役割機能）
- ・サービス担当者会議時や適宜の情報交換を実施し、一人の対象者に対して複数のチームアプローチを実施できるよう連携実施に努める。（※顔の見える関係作り）

⑥目標稼働率 75%を目指す

- ・地域ケアマネージャーとの情報交換を密にし、信頼関係の構築に努める。（毎月の利用状況報告。）
- ・問合せに対し迅速に対応する。
- ・定期的にケアマネージャーへのあいさつ回り、利用案内送付を行う。

平成29年度 デイサービス桜 平均利用者数 (目標)

月	1日平均利用者数	年累計稼働人数	稼働率(%)
4	6	6	50%
5	7	7	58%
6	7	7	58%
7	6	7	50%
8	5	6	42%
9	6	6	50%
10	7	6	58%
11	6	6	50%
12	5	6	42%
1	4	6	33%
2	4	6	33%
3	5	6	42%
			平均稼働 47%

以上